



7月末の田んぼです。雑草取りが終わり、イネはすくすくと順調に育っています。





見渡す限りに水田が広がります。 田園とはこのことかと思えます。
水田に涼風がわたります。



今朝は、サギを見ました。朝食のため、水田に姿を現したと思われます。
中央が「サギ」で「ここにも・・・」が「アオサギ」かな？ 遠く、判断できません
サギは秋の収穫時まで飛んできます。 楽しみにしててください。



私たちの田んぼです。田の草取りの時に足をとられた水がありません。 水不足でしょうか？



すぐ脇の側溝にも水が流れていません。 イネが枯れてしまう・・・



乾いた田んぼに「カエル」が飛び跳ねていました。

これは「田干し」「中干し」「土用干し」とも言われ、田んぼに水を送りません。田んぼの管理ミスではなく、意図的に送水を止めます。

田んぼの表面を乾かすことによって、根に酸素が補給され、根はしっかりと強く張ることができるようになります。

イネは田んぼの中の栄養素を摂取し、根が張ることによって風に強く、倒れにくくもなります。収穫量が増えます。

その後、再び田んぼに水を入れ、イネの発芽、結実を進めます。